

# アリストテレス倫理学に基づく幸福の規範尺度の構成とその規定要因に関する研究

愛媛大学 学生会員 ○松本和也 愛媛大学大学院 正会員 羽鳥剛史

## 1. はじめに

我が国は、明治維新から今日に至るまで急激な近代化を遂げ、世界有数の経済大国へと上り詰めてきた。近代化によって経済的発展や物質的豊かさ、あるいは政治的な平等や社会的福祉の充実が我々にもたらされた一方、近代化による弊害として、ゴミ問題や風景の破壊、あるいはゴミのポイ捨てや自転車の放置駐輪といった人々の道德意識の低下等の社会問題が生じている。

土木は交通網や上下水道などの社会基盤を整え、近代化を支えてきた。その一方で、土木もまた、近代化の弊害に少なからず加担してきたことが懸念される。土木の究極の目的を一言で言い表すならば、それは「幸福な社会の実現」であると言える。これらを踏まえると、土木が目指してきた「幸福」というものもまた、近代主義特有の幸福概念に基づいていたのではないだろうか。このような近代主義的な幸福概念として、近年、「主観的幸福感」が注目されている。

主観的幸福感とは、自分自身が幸福を主観的に感じているかどうかを評価するものであり、快楽を得ることを幸福と捉える快楽主義的な側面を持った幸福概念であると言える。しかし、このような幸福概念が土木の最終的な目的である「幸福な社会の実現」を達成する上で、十分な役割を果たし得るとは言い難い。そこで、本研究ではこれに替わる幸福概念として、最も伝統的な幸福概念であるアリストテレスの幸福論に注目した。

アリストテレスは著書『ニコマコス倫理学』<sup>1)</sup>において、幸福とは「よく生きること」、「徳に即しての魂のある活動」であり、幸福感はよく生きる活動の付随物に過ぎないと論じている。このような幸福概念は、幸福を「主観的幸福感の水準の高さ」と見なす近代主義と対峙するような幸福概念であり、「人間のあるべき生き方」を提示した規範的な幸福論であると言える。そこで、本研究では、アリストテレスの論ずる幸福概念を「規範的幸福」と呼称することとし、本研究の目的を 1)規範的幸福尺度を構成すること、2)規範的幸福の規定要因を実証的に検討することとした。

## 2. 調査概要

### (1) 調査対象

愛媛大学に属する 1, 2 回生 179 名を対象に行った。調査協力者の男女構成は、男性 138 名(77.1%)、女性 29 名(16.2%)、不明 12 名(6.7%)であった。各学年の授業時に紙面によるアンケート調査を依頼した。

### (2) 調査項目

#### (a) アリストテレスの幸福論に関する項目

『ニコマコス倫理学』より「人間の幸福」に関連する箇所を抜き出し、その原文の意に抵触しないように注意を払いつつ、アンケート調査における回答のしやすさに配慮した上で質問項目を作成した。

#### (b) 妥当性の検討に関する項目

前述したように、アリストテレスの幸福概念は近代主義と対峙した幸福概念であるという点を踏まえ、近代人に特有の態度や行動を表す尺度として、1)大衆性尺度、2)消費尺度、3)後悔・追求者尺度、4)社会的ジレンマ項目を用いた。

#### (c) 規定要因の検討に関する項目

規範的幸福の条件を探るために、1)幼少期の生活環境に関する項目、2)共同体意識に関する項目を用いた。

## 3. 規範的幸福尺度の構成

アリストテレスの幸福論に関する質問項目 81 項目に対して因子分析(主因子法)を実施し、6 因子を抽出した。それぞれの因子に高い因子負荷量を示す項目を参考に各因子を命名した。この結果を表-1 に示す。

次に、規範的幸福尺度ならびに主観的幸福尺度(SWLS 尺度、感情的幸福尺度)と社会的ジレンマ項目の相関分析の結果を表-2 に示す。規範的幸福尺度は近代社会特有の問題である社会的ジレンマ状況における協力行動を表す項目と有意に正の相関を示し、非協力行動を表す項目と有意に負の相関を示した。さらに、規範的幸福尺度は主観的幸福尺度に比べ、社会的ジレンマとの相関が強いことも示された。

また、規範的幸福尺度と社会的ジレンマ項目以外の妥当性の検討に関する項目の相関分析についても、規範的幸福を実践している個人は近代人に特有の態度や行動を示す傾向は低いという理論的關係と整合する結

表-1：規範的幸福尺度の質問項目

| 友情 (α=.820)                            | 謙虚 (α=.622)                                   | 公共心 (α=.604)                       |
|----------------------------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------|
| 1 友人とは互いに助け合いながら、共に幸せになりたいと思う          | 17 とにかく笑いをとることをばかり考えてしまう*                     | 32 お金への執着心が強い*                     |
| 2 友達とは悩みや喜びを分かち合いたいと思う                 | 18 多少の危険を冒してでもかっこよく思われたい*                     | 33 結局のところ、自分のために「善い行い」をしたいと思う      |
| 3 友人の幸せや苦難を自分自身のことのように感じる              | 19 笑いをとるためなら、所構わず下品なことでも口にする*                 | 34 「幸せ」とは快楽を得ることに他ならない*            |
| 4 昔の友達との思い出は、いつまでも大事にしたいと思う            | 20 何事も派手にやるのが好きだ*                             | 35 成功している友人を見ると、何とかその恩恵にあずかりたいと思う* |
| 5 相手からの友情には友情をもって応えるのが当然だと思う           | 21 特に根拠はないが、自分は優れた人物だと思う*                     | 36 何事においても苦痛なことには耐えられない            |
| 6 友人が逆境に陥っていたら、自ら進んで支えてあげたい            | 22 時と場合に応じて、冗談を言うことを心がけている                    | 37 すぐにカッとしたりしやすい性格だ*               |
| 7 自分には心の底から分かり合える友人がいる                 | 23 友人は多ければ多いほどよい*                             | 38 相手からの仕打ちには、仕返ししないと気が済まない*       |
| 8 お金を得るためなら、自分を偽ることも厭わない*              | 24 自分の能力以上に自分を大きく見せようとしてしまう*                  | 39 一度怒るとなかなか怒りが収まらない*              |
| 9 自分にとって有益な相手としか友達になろうと思わない*           | 25 人を怒る時には、本当に怒るべきかを慎重に判断して、怒るように心掛けている       |                                    |
| 10 友人と笑い合ったり、冗談を言い合ったりすることに全く意義を見出せない* | 26 刺激や快楽も適正な範囲で行き過ぎることがないように心がけている            |                                    |
| 11 自分で決めたことでも、誘惑に負けて守り通すことができない*       | 27 何事も行き過ぎることのないように気を付けている                    |                                    |
| 12 快楽や欲望に打ち克つことができない*                  | 28 自分の身にふりかかる苦難と真摯に向き合いたい                     |                                    |
| 13 よく考えもせず、快楽の赴くままに行動してしまう*            | 29 たとえ恐ろしいことでも、それから逃げ出すことが後ろめたいことなら、耐え忍びたいと思う |                                    |
| 14 自分はこうありたいと思っていても、それとは違ったことばかりしてしまう* | 30 「よく生きよう」と真剣に努めている                          |                                    |
| 15 駄目な行いだと分かっている、ついついやってしまうことがある*      | 31 自分が逆境に陥っても、安易に友人に助けを求めるべきではないと思う           |                                    |
| 16 快楽や欲望をひたすら追い求めてしまう*                 |                                               |                                    |

α: クロンバックの信頼性係数, \*: 逆転項目

表-2：規範的幸福尺度と社会的ジレンマ項目の相関分析結果

|                                                   | 規範的<br>幸福尺度 | 友情    | 節制       | 謙虚       | 真剣       | 公共心      | 稷和       | SWLS<br>尺度 | 感情的<br>幸福尺度 |
|---------------------------------------------------|-------------|-------|----------|----------|----------|----------|----------|------------|-------------|
| 協力行動に関する項目                                        |             |       |          |          |          |          |          |            |             |
| あなたは地域のために、みんなが嫌がる仕事を率先してやりますか                    | .146        | .158  | .058     | -.155    | .381 **  | -.010    | .064     | .089       | .212 **     |
| 古い美しい町並みを維持していくことはとても大切なことだと思いますか                 | .070        | .140  | -.125    | .054     | .259 **  | .030     | -.036    | .000       | .099        |
| あなたが、「古い美しい町並み」に住んでいる場合を想像してください                  |             |       |          |          |          |          |          |            |             |
| その時、あなたは、その町並みを維持するため、どれくらいのコスト(時間とお金)を負担すると思いますか | .171 *      | -.001 | .075     | .195 *   | .281 **  | .167     | -.062    | .026       | .045        |
| それぞれの地域の風土を大切にしていかなければならないと思いますか                  | .102        | .169  | -.092    | .074     | .304 **  | .016     | -.033    | .018       | .149        |
| 非協力行動に関する項目                                       |             |       |          |          |          |          |          |            |             |
| 特に環境に配慮しなくても、環境問題を解決する技術が将来発明されるから、大丈夫だと思いますか     | -.108       | -.044 | .019     | -.193 *  | -.097    | -.076    | -.025    | .014       | -.099       |
| 自分ひとりでぐみの分別をしなくても、たいした問題ではないと思いますか                | -.175 *     | -.037 | -.079    | -.243 ** | -.118    | -.031    | -.102    | .065       | -.066       |
| ごみのポイ捨てをすることがあります                                 | -.254 **    | .017  | -.126    | -.311 ** | -.220 *  | -.155    | -.097    | .022       | -.070       |
| 自分の地域に原子力発電所が建設されるとしたら、あなたは反対しますか                 | -.145       | .081  | -.172 *  | -.190 *  | .089     | -.019    | -.196 *  | -.063      | -.108       |
| 採算のとれていない公共交通は、廃止されるべきだと思いますか                     | -.472 **    | -.082 | -.387 ** | -.251 ** | -.097    | -.270 ** | -.359 ** | -.148      | -.216 **    |
| 正直なところ、みんなが自転車の違法駐輪をしているなら自分もしてもかまわないと思いますか       | -.374 **    | .076  | -.276 ** | -.233 ** | -.181 *  | -.360 ** | -.230 ** | .046       | -.022       |
| 生活の利便性のためには景観を犠牲にしても、仕方がないと思いますか                  | -.117       | -.119 | -.009    | .016     | -.223 ** | -.110    | .011     | .008       | -.092       |

\*: p&lt;.05, \*\*: p&lt;.01

表-3：規範的幸福尺度と幼少期の生活環境に関する項目の重回帰分析結果

| 従属変数: 規範的幸福尺度 |        |         |
|---------------|--------|---------|
| 説明変数          | 標準化係数β | p値      |
| 地域・家庭とのつながり   | .182   | .036 ** |
| 快楽的習慣         | -.196  | .024 ** |
| 知性的習慣         | .016   | .851    |

\*\*: p&lt;.05

果を得ることができた。従って、構成尺度の妥当性を一定程度認める結果を得ることができたと言える。

#### 4. 規範的幸福の規定要因の検討

次に、規範的幸福尺度に従属変数、幼少期の生活環境に関する項目を説明変数とした重回帰分析の結果を表-3に示す。この結果から、幼少期に地域・家庭とのつながりを持っていた個人ほど規範的幸福尺度得点は有意に高く、快楽的習慣(コンビニ、ファーストフードの利用等の近代的快楽の習慣)を持っていた個人ほど規範的幸福尺度得点は低いということが示された。

また、規範的幸福尺度と共同体意識の相関分析では、

共同体意識を感じている個人ほど規範的幸福尺度得点は高いという結果が得られた。

#### 5. 結論

本研究結果をまとめると、規範的幸福尺度と社会的ジレンマ項目の相関分析から、「個人の主観的幸福」と「社会の厚生」が必ずしも対応しない一方で、「アリストテレスの規範的幸福」と「社会の厚生」は両立し得ることが示された。このことは、規範的幸福尺度が社会政策の在り方を検討する上で、一つの重要な指標と成り得ることを意味する。

また、規定要因の検討から、地域計画における示唆として、共同体・コミュニティの再建を促す重要性、画一的な近代化を防ぎ、それぞれの風土を保持した上での発展を目指す重要性が示された。

#### 参考文献

- 1) アリストテレス：ニコマコス倫理学(上,下), (高田三郎訳), 岩波文庫, 1971